被災宅地危険度判定 判定票の記載例

※判定項目に着目して記入しており、応急措置状況などについて 既存の判定票・写真で記載がない又は判別できない箇所は本資料 では未記入としております。

(実際の判定にあたっては、必要事項の記載をしてください。)

【記載例-1】 擁壁の被害(1)

例題-1(現場写真)



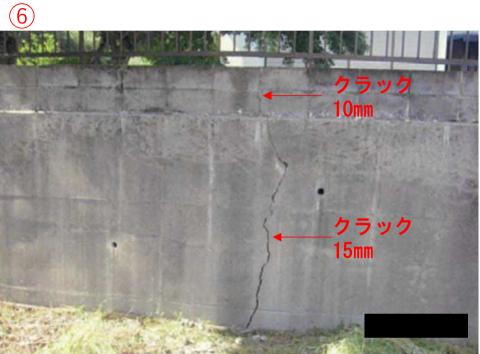






例題-1(現場写真)







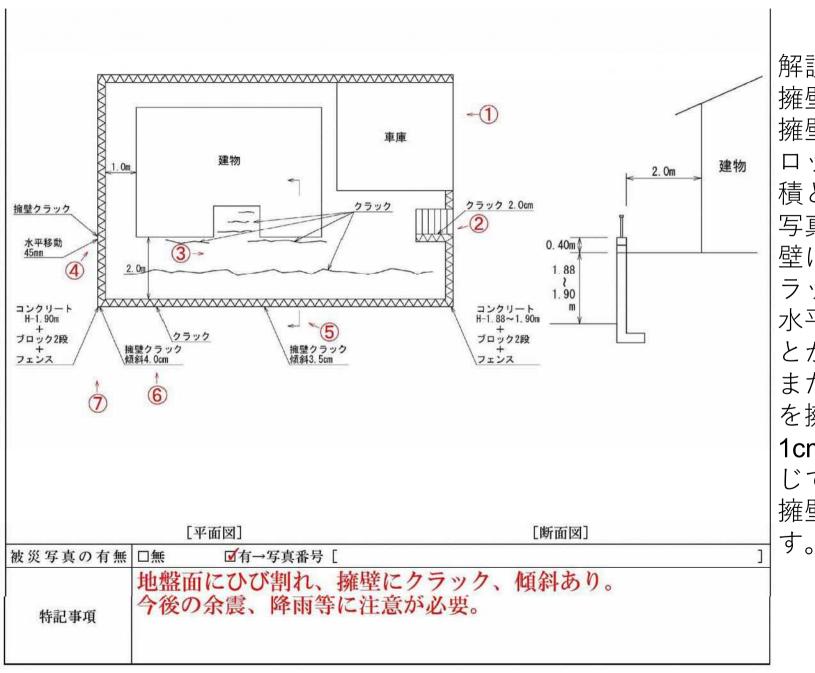
(様式-1) 擁壁被害状況調査・危険度判定票

	≓III	-4-	सर	調査日時	4	丰	月	H	時	調査番	: 号				
	調	査	票	地震名又は	体雨災害	名									
	被 害 発 生 場 所			都	道府県	_		市郡			区	区町村			
	依 音 光	土场加			地区	【 団地		1	·目	番	:	号			
	所有者•管	管理者氏名				記入者氏	名		TEL						
	所有者・	管理者の				居住者へ	Ø	□済□⋾	未了						
3	連絡	各 先	TEL:			説	明		□居住者	不在	口老人犯	由居住宅	in his		
 写真	真・図り	= 0	<被	災状	況	図>			応急措 □被災	10 //2.00	□ 未了 易記録				
	1.クラック	7 2.水平和	多動 3-1.不	同沈下 3-2	2.目地の開き	き 4.ハラ	111	5-1.傾 斜	5-2.倒	壊 6.擁	壁の折損	7.崩	壊		
	33				$\leftarrow \mapsto$										
	8.張出し床版付	擁壁の支柱の損	傷 9.基礎及び	が基礎地盤の被	害 10.排水	施設の変状			建物・道路との位置関係(基礎点)						
					~				_ 影響範囲外	(B) 影響	警範囲(A)	影響範囲	<u>사 (B)</u>		
	※簡易記錄	录をする場	合は、被災	状況図は省	略するこ	とができる) o		-	_ 1. 7H	Ţ				

解説

被害状況図には、写真、図よりクラック、水平移動、傾斜を生じていますので ○を付けてください。

影響範囲は擁壁の下に道路や建物がありませんが、擁壁上部から2mに建物があるため、Aとなります。



解説 擁壁タイプは,RC 擁壁の上部に建築ブ ロックがあるため増 積となります。 写真・図よりL型擁 壁に**1.5~2.0**cmのク ラックが生じ、**45**mm 水平移動しているこ とが分かります。 また,建築ブロック を擁壁に使用して 1cmのクラックが生 じています。 擁壁が傾斜していま

擁壁		□コンクリートラ	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他	□重力式			☑增積み擁壁	増積部分 練達部分 全種差高	コンクリートブロック L 型 雑壁 23 m 増設高	⁷ 2段]] 0.4 m			
擁壁の基礎的条件	雑壁の種類	□練石積矲		□場所打ち □間地石 □その他	□プレキャスト □コンクリー・トブロック	7]	□二段頻達	上野福]] m				
条	類 			□玉石積	□くずれ石積			□張出し床版付擁壁	□その他	m;卜部高]			
件		□空石積縮	壁	□間地石			-	擁壁の設置条件	□切土・塩		不明			
				□その他	-			擁壁の勾配	<u>B</u>)				
								第一田に建物主たは道路がある(A)	□影響範囲					
			乾燥					(0)	1,1					
	(I)	湧水	湿潤					0.4 写真 』	:り L					
	100		にじみ	出し、流出				0.8		基礎点計				
基		_	水抜孔	有、天端排水溝	有、表面水の浸透阻	ir.		0		0				
T*lel-	(2)	②排水施設 水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい						0.4	,	0.2				
礎	- 52		水拔孔	無 あっても数	• 寸法が不適当			0.8		0.4	OG			
点			H≦lm			NO F	- 1.1	0		0	0.6			
2110			1m <h< td=""><td>≦3m</td><td></td><td>図よ</td><td>、り</td><td>0.2</td><td></td><td>0.1</td><td><u>u</u></td></h<>	≦3m		図よ	、り	0.2		0.1	<u>u</u>			
	(3)	高さ	3m <h< td=""><td>≤4m</td><td></td><td> </td><td>_</td><td>0.4</td><td></td><td colspan="5" rowspan="2">0.2</td></h<>	≤4m			_	0.4		0.2				
			4m <h< td=""><td>≦5m</td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td></h<>	≦5m				0.6						
			5m <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td>0.4</td><td></td></h<>					0.8		0.4				

解説

基礎点は、写真より湧水がなく乾いているので0点、排水施設0.4点、 擁壁高さが2.3mなので0.2点、合計0.6点となります。

X	程度			,	js.					1	þ			m .			大				
区分	項目 擦壁種類	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積		
	1 クラック	1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8			
	2 水平移動	2	25	3.5	4	6	6	35	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9		
変	3 不同沈下・日地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10			
状	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10		
形能	5 何斜・倒壊	5	5.5	(6)	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10			
上	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10			
変状形態と変状	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10		
	8 張り出し床板付練壁の支柱の損傷					7						9						10			
点	9 基礎及び基礎地盤の被害							-			0			_							
-	10 排水施設の変状				3						5						7				
	11 擁護背面の水道管等破裂							1			0			1							
-	項目/程度		Latte act		小						中			-			大				
	1 クラック(幅)	12.55A-75.55C-75					上の支		~20 m		And				WIL.	LARK A	ua A =	DI L	1		
		MAR	し(コンク	アナ彩	雑草の方	易台2m	一人问。	1301003	フリートオ	付雑筐の	場合:	2mm∼)	1	クリート分	練隆の	場台5	m以上			
-	2 水平移動	E	に満の 権	tany del	1475+ .	7		淌	- FO	味満の	pelatuv.A	- LAN LEGE		50	-DLLa	腐問逐	F3.CA-LS	- 7			
-4-	(伸縮目地前後のずれ)	3 mm2	Child And	AUT SET	11111-001	ာ ့			~30 IIII	UNITED Y	PSALIKS	111111-0	20	30 111	III C	华州山多	EIMM-0	00			
変状	3 不同沈下・目地の開き	5	上海	⊟Hh L	下の 書	h WH		5 mm	~50 mm	未満の	□ Hh⁄o	FEO	th V	50 m	mDI Fa	の日地の	D F. T.O	つずわ.	マルナロ		
の	(目地上下・左右の開き)	<u> </u>	1 #		N/I	L	11			きがあ		1.10	,,,,,			あり、					
程	(IPELL) ZITI-ZITI-ZITICI	/	'真	•	凶	4	()	104		10.00				が有		.,,,,	112-20	- de de la co			
度	4 ハラミ	- 4 79W	A*-	/ \/	J 1 1/A	/ (ISCI-I/		宅地	地盤に	テンショ	ンクラック	無し				テンショ	ンクラック	有り			
	(テンションクラック・ずれ・中抜け)	個抜	け落ち	3)				円舠	円弧すべりのおそれ無し						円弧すべりのおそれ有り						
大	5 傾斜・倒壊						ロンクリ		擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コン						擁壁が前傾・倒壊してその機能を失っ						
中		不系	練達の	場合:フ	尽端50₁	mm未満	の作用	13359.50	ツート系練達の場合:天端50mm以上の						ているもの。						
•			_			_		低餘						1							
小	6 操壁の折損	722	クを境に	こわず	かに角	度をな	してい	6.00.00		に明ら						である					
0)	(横・ななめひびわれから起きるもの。	3.	ul 1-75	LADY O	JIH A A-	- 44	1/c) = 1_			があり						の場合が					
概	はらんでいるが曲線的でなく、クラックを境に鈍角に折れている)	- CONTRACTOR - CON	リート糸			フックを	境にわ	- 32,500,5		ンクリート			ソフック			は、1 r いる。		归时他以	数かめ		
要説	7 崩壊	-	辺りか			\Z				に傾斜						してい					
明	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷		こひび			1000				クリートカ	-		かみくロ		の剪り		14. P				
,,,	6 が、かけれて、不成り物質をクスイログは場	X	CU109	ra	CV 'So					79-14	1-14411-4	して野の	のからも	X	·V75319	HIX436					
ŀ	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。																			
ŀ	10 排水施設の変状	1000000	非水滸	A 05-95 FOLL		-		Fil	加え接	選挙のか	ラックマ	は日地	からの	水批	祖の計	まり、	砂目が	あり、	非水機		
			背面、1						がある			COM Video		955555		ている		631156/12/116			
	11 擁護背面の水道管等破裂	破裂	して水	が流出	している	5.															
*			基礎	点	+	变状点	i.				公	皮害程	度の点	数とが	创険度	判定☆	5				
		ΙГ	0.0			00			☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害: 0 点(防災上問題無し)												
	被害の判定値	ш	0.6)	+	6.0		100	被害												
	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数	-		10	-			小	被害	: 1	-4.5	点未清	茜 (当	面は	防災	上問題	無し)			
	※無被害の場合は塩産・被害点の記載無し				-	NO.630	\neg	1	被害	4.5	占~	8.5 占	未満								
				=	6	.6	X	i C								La 1. 17 10	/r #+#/.\				
		l				5257				(制)	限付:	ざ立ノ	、進	打し	(11)	れば退	E 與E)				
	危険度判定	D7	- 1	中	口小	\]無	一大	被害	: 8.5	点~	危険	、要流	胜難、	立入	禁止)					
	所見記入者の意見 緊急度				ф	_	小				人	命・財和	能·交	前の3 ェ	を判定	引権を	する。)		
	The second secon	☑有					判断不				1000	11 /14/			1.474		1000		-		

解説

変状点は写真・図より増 積擁壁のクラックが 2.0cmで6.0点,水平移動 が4.5cmで4.5点,傾斜が4 cmで6.0点となります。 したがって、被害の判定 値は、基礎点が0.6点,変状点が6.0点となる となります。 となります。

み有となります。

【記載例-2】 擁壁の被害(2)

例題-2(現場写真)







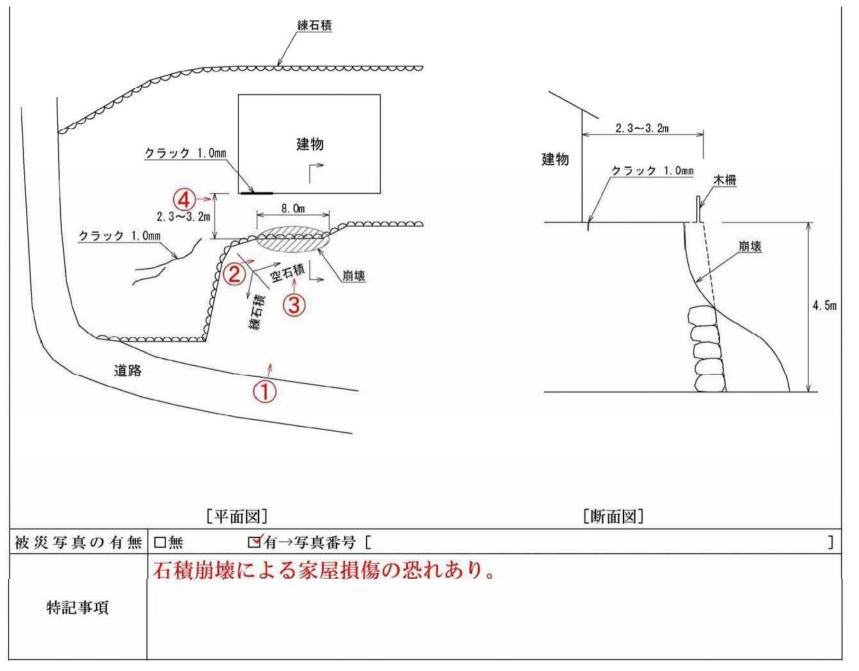


(様式-1)擁壁被害状況調查·危険度判定票

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2-124	/ I					
	⇒m -	चाई	調査日時	年	三 月	日	時	調査番号		
	調査	票	地震名又は	降雨災害	名		<u> </u>			
	** 中 % + 申 a		都	道府県	.;	ブルーシ	ノートで	·措	区町村	
	被害発生場所			地区	団地	置されて	ているた	め	号	
	所有者•管理者氏名	1			記入者氏名		TEL	•\		
	所有者・管理者の)			居住者への	口済 口	未了			
	連 絡 先	E TEL:			説 明		口居住者	不在 ロラ	老人独居住宅	Ĺ
写	真・図より	<被	災状	況	図>		応急措置□被災無			
	1.クラック 2.水平	移動 3-1.7	□ 同沈下 3-2	.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾 翁	1 5-2.倒 均	裏 6. 擁壁の	折損 7. 崩	壊
	97 A 33									
	8. 張出し床版付擁壁の支柱の	損傷 9.基礎及7	び基礎地盤の被領	書 10.排水	施設の変状	In.	建物・	道路との位置	置関係(基礎)	点)
				~ L			影響範囲外(B	影響範囲(影響範囲を エのH。 エ	7 (B)
	※簡易記録をする場	場合は、被災	状況図は省	略すること	とができる。			1.7H		
	ただし、調査箇所が 解		判定結果を	住宅地図」	上に記載し、	被害が無いる	ことが確認て	できる全景写	写を撮影する	5.

被災状況図は写真・図より崩壊に○をつけます。 写真から応急措置は済にチェックをつけます。 影響範囲は、擁壁上部に建物があるのでAとなります。

例題-2(記載例)



擁壁の		□コンクリート	系擁辟	□L(逆 T)型 □もたれ式	口重力	式		□増積み擁壁		積は構造的に]
堂の	擁		/\\49\ <u>L</u>	□その他					水拔	孔の効果がある為、	m
其	擁壁の種類			□場所打ち	ロプレ					状況で判断。]
基礎的条件	の	□練石積擦	程辛	□間地石	□コンク	リートブロック		□二段擁壁		1人 ル じ 十1四1。	J
的	性粗		E COLO	□その他[]			上部局 m; 下部局	m
条	条			□玉石積	口くず	"れ石積		□張出し床版付擦	壁	□その他]
件	件	☑空石積擦	程	☑間地石				擁壁の設置条件		□切士・盛土境 □軟弱地盤上 □伯	也□不明
				□その他]	擁壁の勾配		度又は(1:)
a							口能灣	響範囲に建物または定	路がある	□影響範囲に建物または道路がない(B)	
			乾燥				<u> </u>	(0)		0	
	1	湧水	湿潤			写真よ	1)	0.4		0.2	
			にじみ	出し、流出	1000/11/2004 N	J / C G .		0.8		0.4	基礎点計
基			水抜孔	有、天端排水溝	有、表面力	kの浸透阻止		0		0	1+2+3
礎	2	排水施設	水抜孔	有、天端は表面	水が浸透	しやすい		0.4		0.2	
10区			水抜孔	無、あっても数	・寸法が	不適当		0.8		0.4	1.0
点			H≦1m	1				0		0	1.0
3113			1m <f< td=""><td>I≦3m</td><td>ATCANONIST WORKSHOOMS</td><td></td><td><u> </u></td><td>0.2</td><td></td><td>0.1</td><td>F 10</td></f<>	I≦3m	ATCANONIST WORKSHOOMS		<u> </u>	0.2		0.1	F 10
	3	高さ	3m <f< td=""><td>I≦4m</td><td></td><td><u> </u></td><td>図より</td><td>0.4</td><td></td><td>0.2</td><td></td></f<>	I≦4m		<u> </u>	図より	0.4		0.2	
			4m <f< td=""><td>I≦5m</td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td>0.3</td><td></td></f<>	I≦5m				0.6		0.3	
			5m <f< td=""><td></td><td></td><td>500°4555004112411445643111440024404444446441464</td><td>HE 19046-00300H VO VIVI 00</td><td>0.8</td><td>surcored measurant, esse/listAlle.</td><td>0.4</td><td></td></f<>			500°4555004112411445643111440024404444446441464	HE 19046-00300H VO VIVI 00	0.8	surcored measurant, esse/listAlle.	0.4	

解説

基礎点は写真・図から、湧水はないので0点、天端に水が浸透しやすいので0.4点、 擁壁の高さは4.5mなので0.6点となり、合計で1.0点となります。

例題-2(記載例)

又	程度			/	`					1	þ			10000			大				
分	項目 擁壁種類	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積		
	1 クラック	1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8			
. [2 水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9		
5	3 不同沈下・日地の開き	3	3.5	4	5	7	1	4.5	5	6	7	9	1	6	7	8	9	10	1		
*	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8	/	6	7	8	9	9	1	8	9	10	10	10		
13	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8	/	7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	/		
良し	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10			
上变	7 崩壞		9	9	10	10	8		10	10	10	10	(9)		10	10	10	10	10		
大	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷		1		/	7		/			1	9	~	\leq		1		10	1		
5	9 基礎及び基礎地盤の被害			-		4	-			1	5		-	-	-			4			
"	10 排水施設の変状			3	E .						5			i			7				
	11 擁壁背面の水道管等破裂									1)			-							
	項目/程度			/	١					1	1					- 5	大				
Ì	1 クラック(幅)	2 mm未	満のク	ラックは	あるか	八機能	生しの	2mm	~20 m	m未満				20 m	以上						
		支際が	こしは	クリート	系擁壁	の場合	2 mm	(コンク	リート系	海壁	D場合	2mm~	~5 mm	(コンク	リリート系	排程	D場合	5 mm以	L)		
		未満)。						未満						755-00000		1404-03-0807-11					
	2 水平移動	5 mm未	満の隙	間(変	分があ	5る。		5 mm	~50 mm	未満0)隙間(変位)カ	ある	50 m	以上の	D隙間(変位)な	がある			
	(伸縮日地前後のずれ)																				
变	3 不同沈下・目地の開き	5 mm 3	(満の	1地上	下のす	れ又は	日地	5 mm	~50 π	Ⅲ未満	の日地	の上7	「のず			の日地					
犬	(目地上下・左右の開き)	の開き	がある	5.				れ又	は日地	の開き	きがあ	る。		目地の開きがあり、滑動、転倒のお							
り呈		200000000	200000000000000000000000000000000000000												それが有る。						
主度	4 ハラミ	小規模			び中抜	け(積イ	1が 1	宅地地盤にテンションクタック無し						宅地地盤にテンションクラック有り							
~	(テンションクラック・ずれ・中抜け)		抜け著						円弧すべりのおそれ無し						円弧すべりのおそれ有り						
大	5 傾斜・倒壊	擁壁カ							擁壁が前面地盤に対し垂直 (コンクリート系擁壁の場合:天)						真・図より						
		ンクリー		達の場	台:大	喘 50 m	1未満	以上の傾斜													
þ	e lank-sieta	の傾斜		- 119.	L.) - IA	da 3 3	.)	以上の内除す クラックを境に明らかに角度をなし 一見して大であると判るもの。(エ										. />			
•	6 嬢壁の折損(横・ななめひびわれから起きるも	クラックいる。	を現に	-4797	121234	度をは	: (1000	MICH 100 - 115		311/00 PL 13		M. 200 Call Co.								
1	の。はらんでいるが曲線的でなく、	AND TO THE PROPERTY OF THE PRO							ており、抜け石があり、裏込めコン クリートが見える。(コンクリート系擁壁の												
カ	クラックを境に鈍角に折れている)	(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に わずかに前傾している。)							場合クラックを境に前方に傾斜して												
概	7777 E MEICEPEL TICHTAUCV S)	42911	Chile	100		,		いる。							SAN OF PERIOD (
要 说	7 崩壊	中間	りかい	5 Fが	替って	いる。		基礎部を残して滑っている。						機能を果たしていない。							
児児	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損	中間辺りから上が滑っている。 支柱にひびが入っている。							支柱のコンケリーがはがれて鉄筋が						支柱の剪断破壊。						
71	傷	~,	-00.			9		見えている。							スTLマクラオリロスチ300						
Ì	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模	な沈	下やクラ	ックが	生じて	いる。)U/C (1 1 0 0													
	10 排水施設の変状	天端排						左に加え擁壁のクラック又は目地か							孔の記	まり、	砂扣力	があり	排水		
	171740000	は、天			0.000			100000000000000000000000000000000000000	100 01	ある。		, 410-1				かてい					
		れる。					,,,,		3.0/3/1/1/0/0/							TOWNER JOSEPH C S 1 100					
Ì	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂し	て水が	が流出	してい	る。		,													
			基礎点			※状点		☆被害程度の点数と危険度判定☆													
							7	for	wh cla												
	被害の判定値		1.0	1	77	9.0		無被害: 0 点(防災上問題無し)													
×	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数	_		_			_	小	被害	: 1	~ 4.5	点未	満 (当面は	は防災	《上岸	問題無	無し)			
	無被害の場合は基礎・被害点の記載無し						_	小被害:1~4.5点未満(当面は関													
	MIX CO PROGRAMME IX COMMUNICATION		=	₌ I	10	0	点	中被害: 4.5 点~8.5 点未溢						1							
			6	n.)	10	.0	And			(制	限付	き立	入、	進行	してい	いれば	工避費	隹)			
	在除市如宁	□大 □中 □小 □無 大被書: 8.5 点~(危険、要避難、立入禁止)																			
	危険度判定	-		-	_		THE REAL PROPERTY.		_		orthogo.	100 100 100 100 100	parant Artist	ergi testira.	Social Sections	SE 1-25 (1)	erocotes i	4			
	所見(記入者の意見) <u>緊急度</u> 無被害の場合は記載無し 拡大の見込									(1100271		産・交	連の3	点を準	正基	声とす	る。)		
		M/I AFI			me		判断不	111		(備之	9 .)		

解説

変状点は, 擁壁の基礎 部は残ってので9 点となります。 したがって, 基礎点とがって, 基礎点とがって, 基礎点とがって, 基礎点との点が点9.0点により点ではない。 大被害は大, はます。 込み有となります。